

阪谷朗廬

の『明六雑誌』寄稿文

三島中洲

の『義利合一論』

渋沢栄一

の『道德経済合一説』

大きな時代の移り変わりにもかかわらず、直線で結ばれる彼らの主張。
山田方谷ゆかりの人物を通して、漢学の今日的意義を考えます。

講演会「阪谷朗廬・三島中洲・渋沢栄一」

～山田方谷ゆかりの人物から考える漢学の今日的意義～

日時 令和4年10月15日(土) 14:00～15:30(開場13:30)

場所 倉敷市立美術館3階第2会議室(〒710-0046 倉敷市中央2丁目6-1)

講師 二松学舎大学文学部 教授 町 泉寿郎(まち せんじゅろう) 氏



平成4年 二松学舎大学文学部中国文学科卒業
平成9年 北里研究所東洋医学総合研究所研究員
平成11年 二松学舎大学 博士(文学)
平成15年 二松学舎大学文学部 教授(～現在)

二松学舎大学文学部教授、文学博士。専門は日本漢文学(15～19世紀の学芸史-儒学・医学中心)。第六回日本医史学会学術奨励賞、日本東洋医学会奨励賞など、多数の受賞歴を持つ。共著『渋沢栄一は漢学とどう関わったか』(ミネルヴァ書房)・共著『論語と算盤』の真実』(長久出版社) 著書『近世日本医学史論考 I II』(武田科学振興財団)

定員 40名程度 参加費無料・申し込み不要

主催 「山田方谷の軌跡(～奇跡～)」実行委員会 事務局(倉敷市観光課) 086-426-3411